

近畿地方整備局
資料配布

発表日時	平成16年 7月1日 14時
------	-------------------

件名	<p align="center">平成16年度の社会実験実施地域について</p> <p align="center">近畿で4地域の社会実験に着手</p>
----	---

概要	<p>国土交通省による社会実験は、道路交通問題の解決が期待される先進的な施策について、効果や影響の確認を行うため、場所と期間を限定して、地域の方々に試行的に施策を体験して頂きながら評価を行い、本格的に導入するか否かの判断するもので、新しい施策の導入に向け社会実験を推進しています。</p> <p>平成16年度社会実験の実施テーマとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「暮らしのみちゾーン・トランジットモール」 ・「オープンカフェ等地域主体の道活用」 <p>の2テーマに対応する全国23地域で社会実験を実施します。</p> <p>そのうち近畿地方では「暮らしのみちゾーン・トランジットモール」のテーマで大阪府豊中市において「歩いて暮らせるまち“そね”みちづくりプロジェクト」他2地域で、また「オープンカフェ等地域主体の道活用」のテーマで1地域において社会実験に着手します。</p> <p>(国土交通省道路局社会実験ホームページアドレス http://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.htm)</p>
----	--

取り扱い	<p>テレビ・ラジオ : _____</p> <p>新聞 : _____</p>
------	--

配布場所	<p>近畿建設記者クラブ</p> <p>大手前記者クラブ</p>
------	----------------------------------

問い合わせ先	<p>道路部 道路計画第二課 課長補佐 大森 卓哉 (内線4252)</p> <p>地域道路課 課長補佐 杉江 功 (内線4612)</p> <p>電話: 06-6942-1141 (代表)</p>
--------	---

平成 16 年度 社会実験実施地域一覧

(1) 暮らしのみちゾーン・トランジットモールの社会実験

	実施地域	実験の概要
1	岩手県 紫波町	【過去と未来が循環する人にやさしい街づくり実験】 幅員が狭く歩道のない中心商店街通りにおいて、歩行者・自転車の安全性、快適性の向上を図るため、車道幅を縮小して歩道を確保し、路線バス以外の大型車の進入禁止、ハンプの設置による速度抑制を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
2	山形県 大江町	【もてなしとにぎわいの ^{まちみち} 街道づくりを目指した交通実験】 大江町の中心市街地である左沢地区において、歩道が狭い中心商店街の賑わいを取り戻し、安全性を向上するため、道路のスラローム化に加え、歩道を広げるとともに、イベントを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
3	東京都 渋谷区	【原宿神宮前くらしの道およびオープンカフェ等社会実験】 原宿神宮前地区の地元商店街において、通過交通の抑制を図るためのソフト面の取組みとともに、地域の活性化を図るため、イベントやオープンカフェを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
4	東京都 目黒区	【トランジットモールと楽しく、安全に歩ける歩行空間創出実験】 道路幅員が狭く、違法駐輪があふれている自由が丘地区において、歩行環境の向上や交通利便性の向上を図るため、自動車進入抑制、共同集配システムの導入、小規模駐輪場の分散設置などを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
5	石川県 野々市町	【歴史的な補助幹線道路の歩車共存化に向けた交通社会実験】 歴史的な道路（旧北國街道）において、通過交通の低減や歩行回遊性の向上を図るため、イメージ歩道、狭さく、ハンプ等の設置を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
6	大阪府 岸和田市	【気軽にちょっと覗きたくなる祭都空間（道くさ空間）づくり実験】 交通渋滞の慢性化や回遊行動の欠如等によって都市の魅力が低迷している中心市街地において、街の活性化を図るため、レンタサイクルの導入、歩行者専用道路におけるオープンカフェを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
7	大阪府 堺市	【自転車のまち堺における「自転車力」を活かすためのまちづくり実験】 自転車のまち堺において、観光を含めた地域交流の促進、駅周辺の環境の向上及びまちづくりに対する市民意識の向上を図るため、歩道上の物理的に分離された自転車走行空間の創出や駐輪場への誘導等を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
8	大阪府 豊中市	【「歩いて暮らせるまち“そね”みちづくりプロジェクト」】 大阪市のベッドタウンである住宅地区において、歩行者主体の安全・安心な交通環境の創造や住民による主体的な取組みとしてメインストリートの活性化を図るため、通過交通や車両速度の抑制、一方通行化等を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
9	島根県 津和野町	【平成 16 年度 人と環境にやさしい交通社会実験】 観光地津和野において、歩行者や自転車利用者の安全性・快適性を向上させるとともに、地域住民と観光客との交流機会の増加や賑わいの創出を図るため、トランジットモール、オープンカフェ、パーク＆ライドなどを実施し、その有効性や効果について検証を行う。

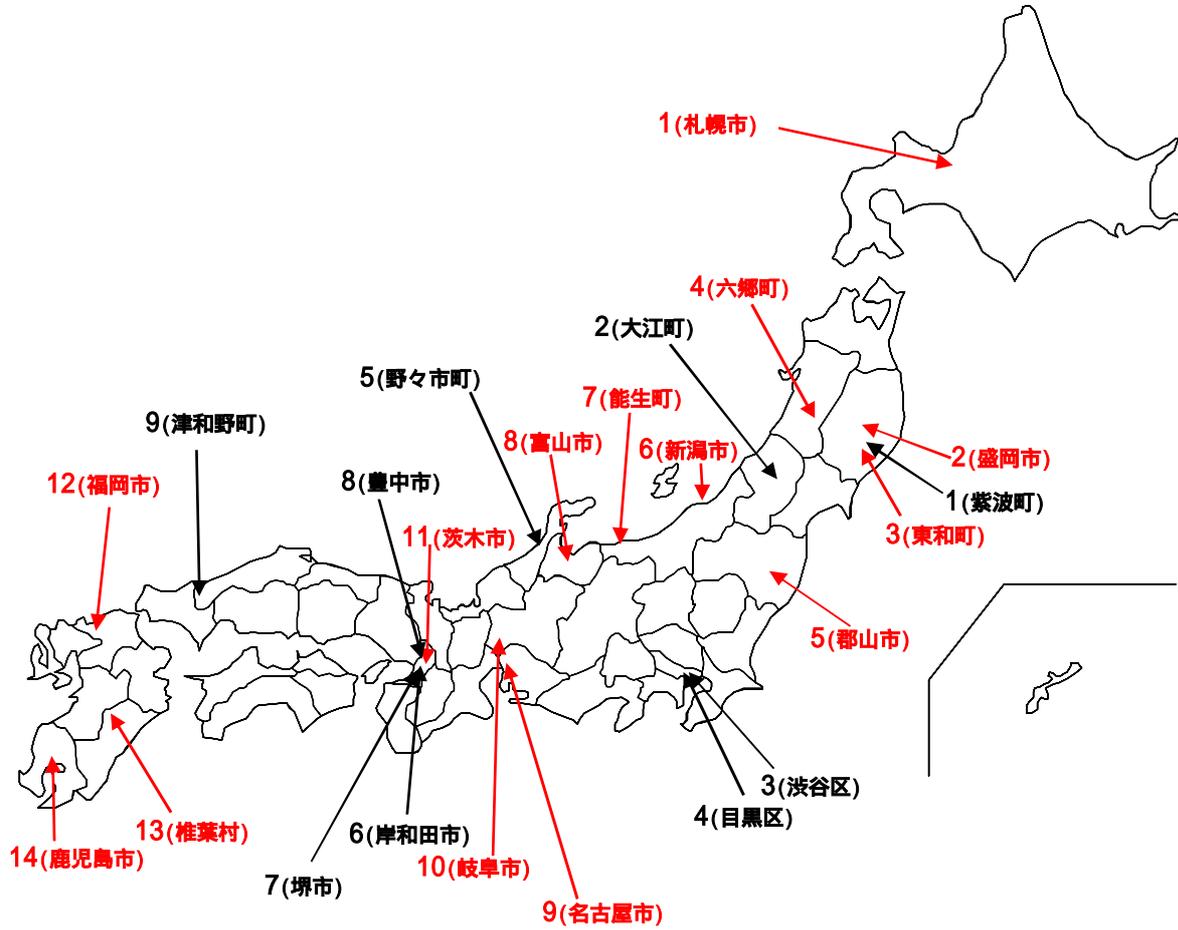
注：暮らしのみちゾーンに申請中の地区を含む。(No.3、6)

(2) オープンカフェ等地域主体の道活用に関する社会実験

	実施地域	実験の概要
1	北海道 札幌市	【人と環境を重視した道路空間の再現】 人・自転車・自動車が混ざりとなった交通状況を改善するため、JR札幌駅前の駅前通りにおいて、自転車走行レーンの設置など道路空間を再配分する実験を行い、その有効性や課題について検証を行う。また、官民の協働による街づくりのため、地元が中心となったオープンカフェの実施や地元と協力して路上駐輪場の整理整頓を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
2	岩手県 盛岡市	【盛岡シネマタウン社会実験】 多数の映画館が立地する中心市街地において、「歩いて楽しむ街」として街の魅力を向上させるため、映画館通りの映画祭等とあわせて、大通りのバストラジットモールとオープンカフェを実施し、その有効性や課題について検証を行う。また、周辺駐車場へレンタサイクルを配備し、中心市街地へのパークアンドサイクルライドの促進を図る実験を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
3	岩手県 東和町	【「にぎわいの“みち”・暮らしの歩道」協働型創出実験】 東和町の中心市街地の商店街通りにおいて、将来の歩道整備を念頭に、地権者の自主的なセットバックによる道路空間の有効活用を図るため、地域主体の道路空間の維持管理体制構築に向けて、仮設歩行空間創出、歩行者天国化、オープンカフェ等の道路の利活用に関する実験を行い、その有効性や課題の検証を行う。
4	秋田県 六郷町	【地域連携サイクルマネジメントによる活性化実験】 中山間地域の六郷町、千畑町、仙南村の3町村（合併予定）において、メインストリートとなる中心市街地の賑わいを創出するため、自転車歩行者専用空間を設ける実験を行い、その有効性や課題について検証を行う。また、町村合併に向け地域間交流の充実のため、サイクリングコースの設定とともに、自転車休憩所やレンタサイクルの設置等を行い、住民の連携・交流を図る。
5	福島県 郡山市	【郡山にぎわい・夢カフェ社会実験】 郡山市中心市街地の「なかまち夢通り」において、街の魅力を高め、賑わいを創出するため、オープンカフェを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
6	新潟県 新潟市	【公共空間の有効活用による賑わい創出実験「みちと水辺のオープンカフェ」】 新潟市のシンボルとなっている萬代橋を核として、中心市街地の賑わいの創出を図るため、オープンカフェやイベントを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
7	新潟県 能生町	【能生町 中心市街地活性化 社会実験 - 道の駅といっしょに にぎわいのう - 】 能生町の中心商店街において、歩行者天国を実施するとともに、路肩等を彩色するなど彩りある道路景観形成を実施し、あわせて道の駅から商店街へ来訪者を呼び込むためのレンタサイクル等を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
8	富山県 富山市	【公共空間の活用による賑わいと回遊性の創出実験】 富山市の中心市街地において、賑わいの創出を図るため、オープンカフェやイベントを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
9	愛知県 名古屋市	【歩行者空間の地域共同による活用・管理促進社会実験】 名古屋中心部の久屋大通等において、歩行者空間を地域が共同で管理していく体制を構築するため、歩道上の休憩施設の設置・運営や清掃活動などを実施し、その運営システムの検証を行う。 また、安全・安心・快適な歩行者空間を実現するためのITS技術を活用した歩行者案内サービスについても検証を行う。
10	岐阜県 岐阜市	【光と緑あふれる歩行者空間創出実験】 岐阜市の2大商業地区(岐阜駅周辺地区と柳ヶ瀬地区)を結ぶ玉宮通りにおいて、魅力的な歩行者空間の創出による市街地の再生を図るため、オープンカフェ等を実施し、その有効性や課題について検証を行う。

	実施地域	実験の概要
11	大阪府 茨木市	<p>【茨木・宇野辺駅周辺地区複合モビリティポート社会実験】</p> <p>大阪モノレール宇野辺駅～JR茨木駅の区間において、道路や駅前空間の魅力を高め、地域の活性化に資するとともに、自動車に頼らない交通利便性を高めるため、駅および大規模商業施設において、オープンカフェ、イベント、レンタサイクル、レンタルショッピングカート等を行い、その有効性や課題について検証を行う。併せて、交通問題に関するパネル展示等を実施し、啓発活動を行う。</p>
12	福岡県 福岡市	<p>【「憩いと魅力」の道路文化創造社会実験～天神モデルの形成と発信～】</p> <p>都市型観光拠点として発展している福岡・天神地区において、道路の憩いと魅力を創造し、来街者の満足度向上を図るため、歩行者天国やオープンカフェと同時に地域が主体となった道路管理活動を一体的に実施し、その有効性や課題について検証を行う。</p>
13	宮崎県 椎葉村	<p>【椎葉村道空間有効活用（道のミニオアシス（仮称））社会実験】</p> <p>道路整備が遅れている中山間地域の観光地において、観光客や地域住民にとって賑わいのあるメインストリートを創出するため、既存の道路空間を交通規制により「道のミニオアシス（仮称）」とし、観光施設間の周遊性を高めるとともに情報交流の場として活用を行い、その有効性や課題について検証を行う。</p>
14	鹿児島県 鹿児島市	<p>【天文館中央地区アメニティ空間づくり社会実験～道路空間の新たな活用による中心市街地の再生～】</p> <p>鹿児島市の中心市街地において、地域の賑わいづくりと、道路の維持管理における官民役割分担を検討するため、オープンカフェやイベント、およびNPOによる道路清掃パトロールや地域住民による花いっぱい活動を実施し、その有効性や課題について検証を行う。</p>

平成 16 年度 社会実験実施地域一覧



← 暮らしのみちゾーン・トランジットモール
← オープンカフェ等地域主体の道活用

くらしのみちゾーン・トランジットモールの社会実験

【施策の概要】

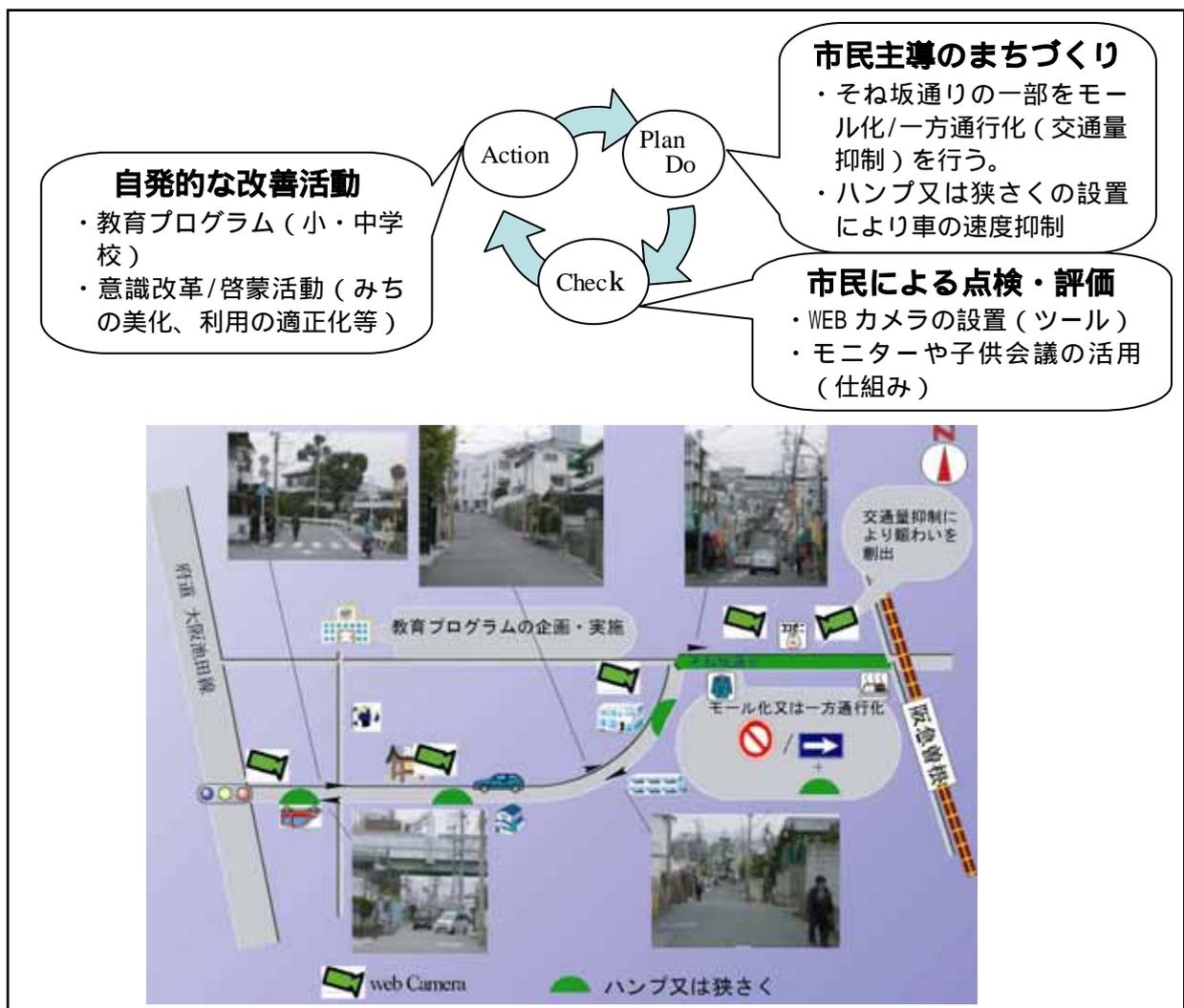
「くらしのみちゾーン」は、外周を幹線道路に囲まれている等のまとまりのある住区や中心市街地の街区などにおいて、警察と連携して一般車両の地区内への流入を制限して身近な道路を歩行者・自転車優先とし、併せて無電柱化や緑化等の環境整備を行って、交通安全の確保と生活環境の質の向上を図ろうとする取り組みです。

「トランジットモール」は、中心市街地のメインストリート等で警察と連携して一般車両の利用を制限して、歩行者・自転車とバスや路面電車などの公共交通機関の利便性を高め、街のにぎわいを創出しようとする取り組みです。

【代表事例】

大阪府豊中市（「歩いて暮らせるまち“そね”みちづくりプロジェクト」）

大阪市のベッドタウンとして発展してきた曽根地区において、歩行者主体の安全・安心な交通環境の創造やメインストリートの活性化を図るため、通過交通や車両速度の抑制、一方通行化等を実施し、その有効性や課題について検証を行う。



平成 16 年度 社会実験実施地域の検討経緯について

平成 16 年度社会実験の実施地域の検討経緯は下表のとおり、「社会実験の推進に関する懇談会（座長：東京海洋大学 高橋洋二教授）」を開催し、実験内容等について御意見をいただきました。

平成 16 年度 社会実験実施地域の検討経緯

3月2日	公募要領公表
4月1日	公募開始
4月28日	公募締め切り
6月10日	社会実験の推進に関する懇談会開催
7月1日	プレスリリース

平成 16 年度 社会実験実施地域の概要

【平成 16 年度 応募主体別応募件数】

年 度 応募主体	H16	
	応募件数	実施件数 (今回)
地方自治体	16	11
地方自治体が主体となっている協議会等	8	3
NPO や民間等が主体となっている協議会等	11	9
計	35	23

注：今回、選定されなかった申請について、今後、関係機関との調整など実験を行う諸準備の整ったものについては、追加を行う予定です。

【これまでの応募主体別応募件数】

年 度 応募主体	H11		H12		H13		H14		H15	
	応募件数	実施件数								
地方自治体	8	4	14	4	25	13	27	11	18	10
地方自治体が主体となっている協議会等	5	2	7	4	1	0	3	1	10	6
NPO や民間等が主体となっている協議会等	1	0	4	1	10	3	6	2	11	4
計	14	6	25	9	36	16	36	14	39	20

【平成 16 年度 テーマ別応募件数】

応募主体	年 度	H16	
		応募件数	実施件数 (今回)
くらしのみちゾーン・トランジットモールの社会実験		10	9
オープンカフェ等地域主体の道活用に関する社会実験		21	14
路上工事縮減等に関する社会実験		4	0
計		35	23

注：今回、選定されなかった申請について、今後、関係機関との調整など実験を行う諸準備の整ったものについては、追加を行う予定です。

【これまでのテーマ別実施件数】

テーマ	年 度	H11	H12	H13	H14	H15
		実施 件数	実施 件数	実施 件数	実施 件数	実施 件数
道路空間の使い方		1	1	2	2	12
公共交通の利用促進		4	3	3	1	1
観光地の交通円滑化		1	1	3	3	1
自転車利用環境の向上		0	3	1	3	1
物流・駐車対策		0	1	3	0	2
高速道路の有効活用		0	0	2	2	-
その他の施策		0	0	2	3	3
計		6	9	16	14	20

注：高速道路の有効活用については、平成 15 年度より、有料道路の社会実験へ移行。